



株式会社ロゼッタ

2018年2月期 上半期
業績説明資料
(2017年3月～2017年8月)

株式会社ロゼッタ (東証マザーズ : 6182)



2017年10月13日

① 2018年2月期上半期の連結業績は、**会社計画対比で売上高90.0%、経常利益37.5%と未達。**

未達の主要因は、計画通り先行投資的に費用を大幅に増加させたが、**売上の伸びが追いつかなかったこと。**

② セグメント別では、**MT事業及びクラウドソーシング事業の売上未達**が大きい。

③ **自社開発は順調**ながらも、**翻訳業界のパラダイムシフト**に対応するべく、**戦略の方向転換を急ピッチ**で展開。

2018年2月期上半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

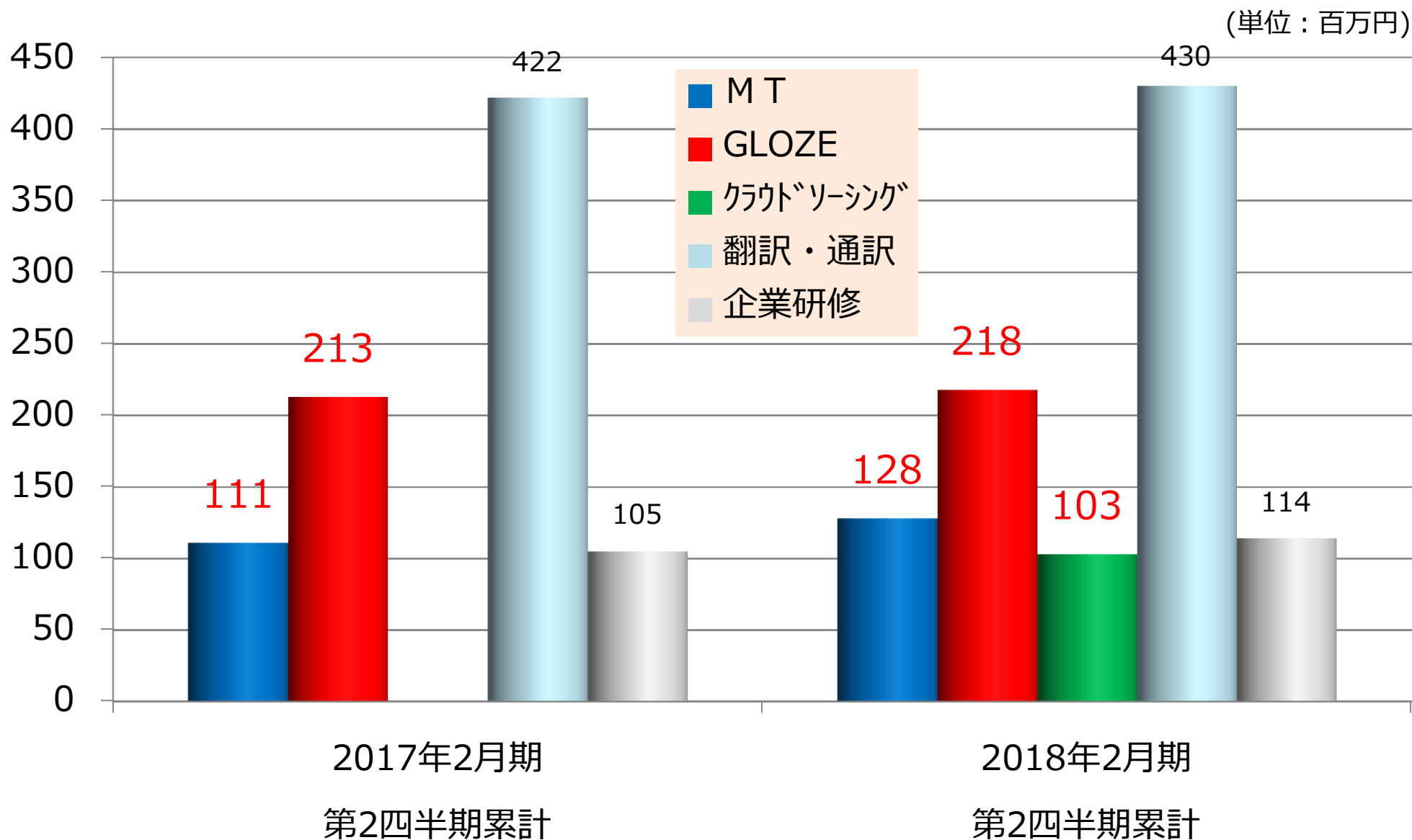
	2017年2月期 第2四半期累計	2018年2月期 第2四半期累計	前年比	会社計画	計画比
売上高	851	994	116.8%	1,105	90.0%
売上原価	385	439	114.0%	496	88.5%
売上総利益	466	555	119.1%	609	91.2%
販売費及び一般管理費	367	522	142.3%	520	100.4%
営業利益	99	33	33.4%	88	37.4%
経常利益	99	33	33.3%	88	37.5%
四半期純利益	58	7	13.3%	47	16.5%

2018年2月期上半期 販管費 前年同期比較

(単位：百万円)

	2017年2月期 第2四半期累計	2018年2月期 第2四半期累計	前年差	前年比	計画比
販売費及び 一般管理費	367	522	+155	142%	100.4%
人件費	248	316	+68	127%	100.5%
広告費	36	43	+7	118%	106.1%
家賃	9	14	+5	158%	90.3%
採用費	2	21	+19	717%	93.0%
支払手数料	21	34	+13	162%	103.9%
のれん償却	3	33	+30	1,011%	100.0%
その他	44	59	+15	133%	99.5%

セグメント別売上高 前年同期比較

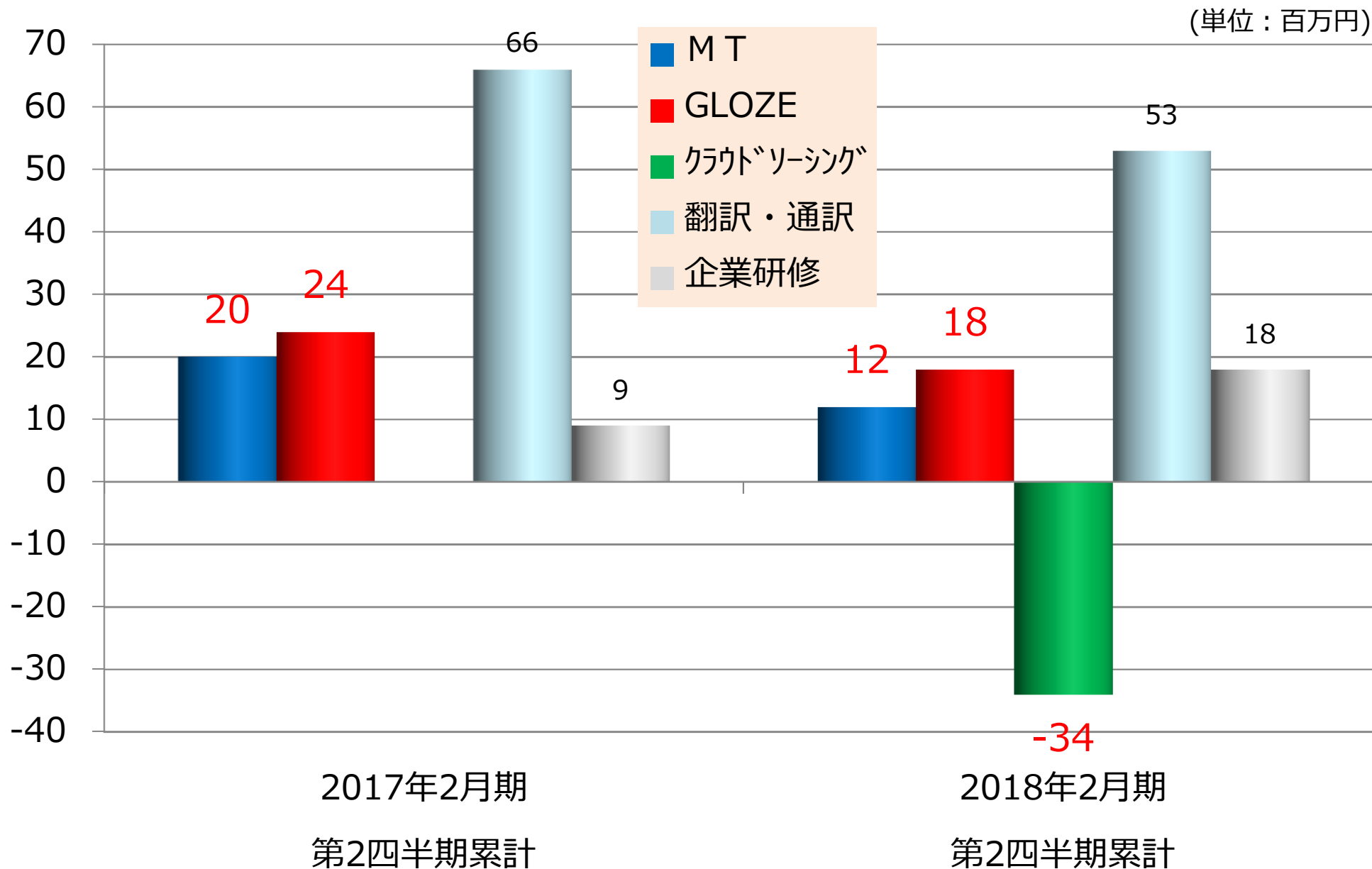


2018年2月期上半期 セグメント別売上高

(単位：百万円)

		2017年2月期 第2四半期累計	2018年2月期 第2四半期累計	前年比	構成比
新規事業	MT事業	111	128	116%	
	GLOZE事業	213	218	103%	45%
	クラウド ソーシング事業	—	103	—	
既存事業	翻訳・通訳事業	422	430	102%	55%
	企業研修事業	105	114	109%	
合計		851	994	117%	

セグメント別営業利益 前年同期比較

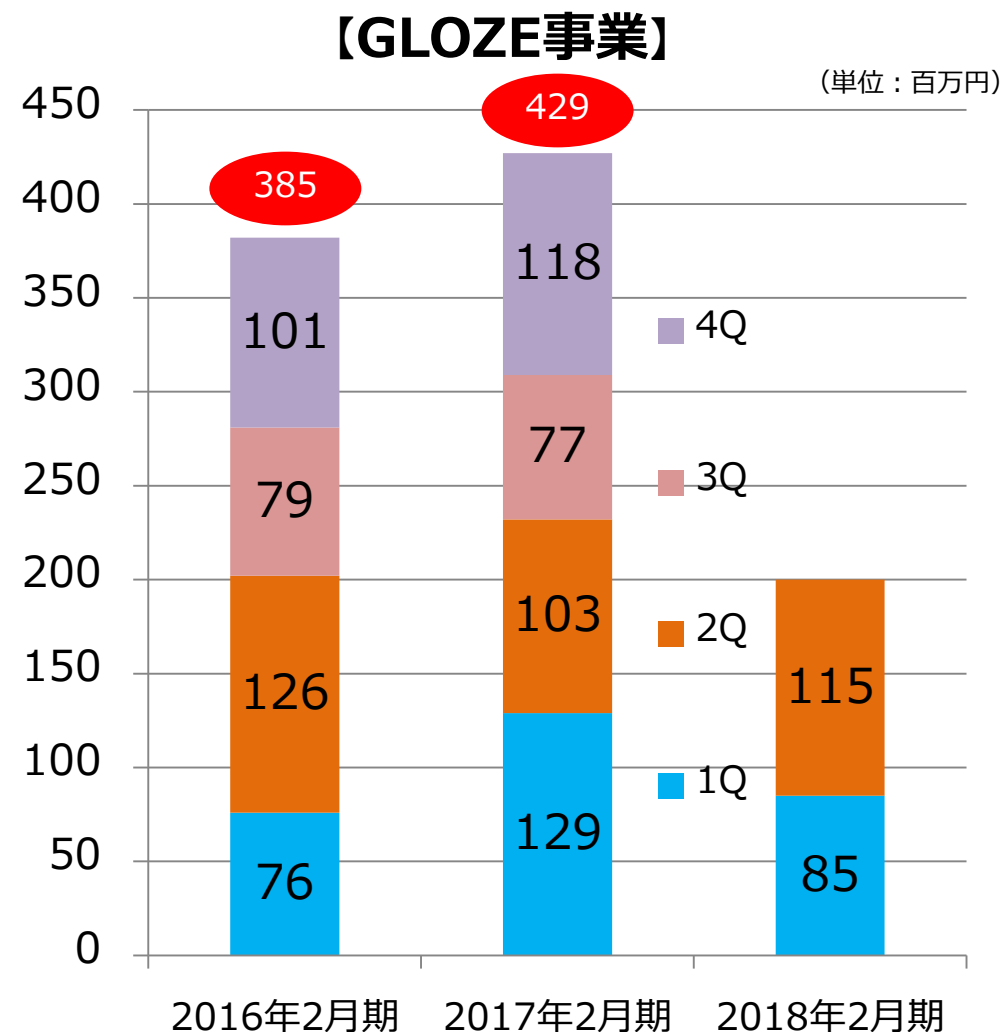
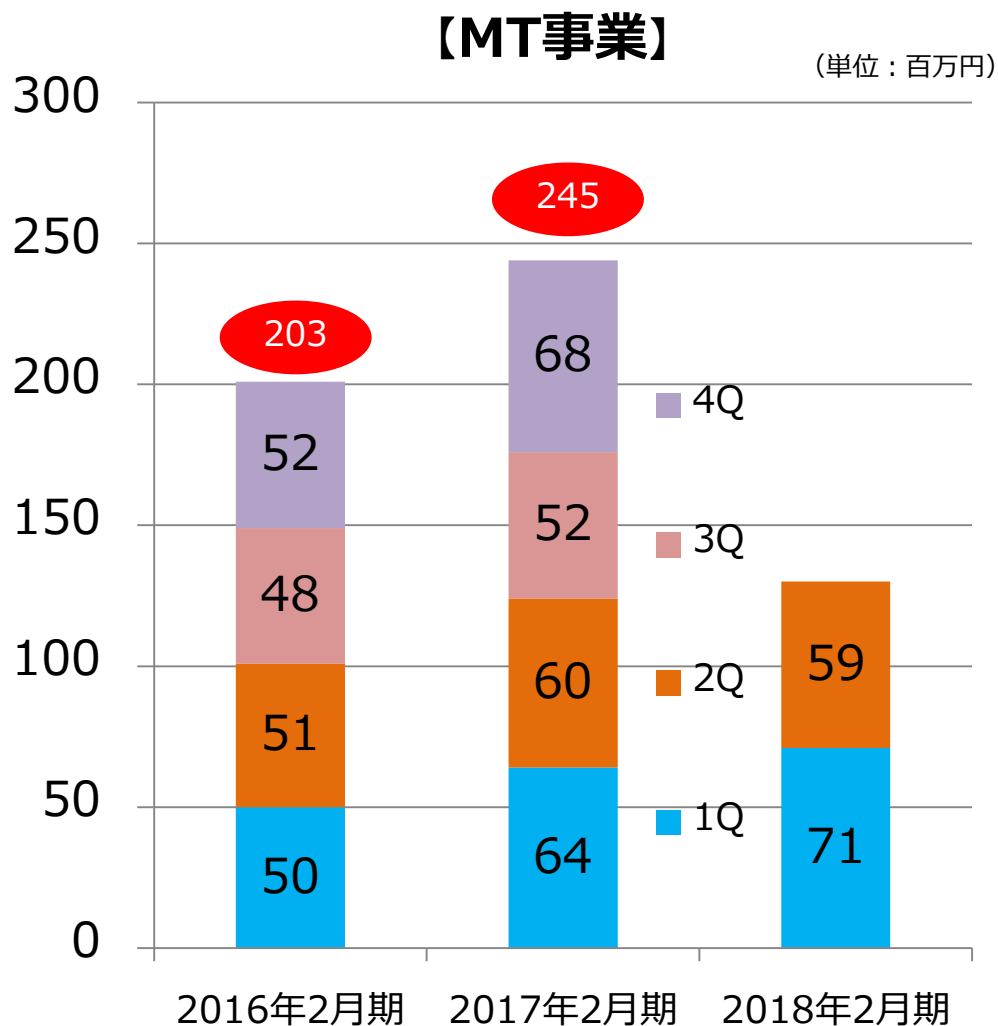


2018年2月期上半期 セグメント別営業利益

(単位：百万円)

		2017年2月期 第2四半期累計	2018年2月期 第2四半期累計	前年比
新規事業	M T 事業	20	12	62%
	G L O Z E 事業	24	18	78%
	クラウド ソーシング事業	—	△34	—
既存事業	翻訳・通訳事業	66	53	80%
	企業研修事業	9	18	195%
	調整額	△21	△35	—
合 計		99	33	33%

MT事業・GLOZE事業 受注高推移



- ・ 受注ベースでの売上推移（財務諸表上の売上ではない）。
- ・ 【自動翻訳】は、SaaS『熟考』シリーズの受注売上のうち、初期費用と年間利用料のみに限定。（リライト・DTP等のオプション売上、リソースデータ販売等の売上を除く）
- ・ 【自動翻訳】【GLOZE】ともに、外部への販売数値のみ（グループ内部取引による売上を除く）。



株式会社ロゼッタ

市場の現状と見通し

翻訳業界で突然始まる産業革命的パラダイムシフト

NMT(Neural Machine Translation)により
自動翻訳の精度が突如かつ劇的に向上



イノベーションによる市場破壊

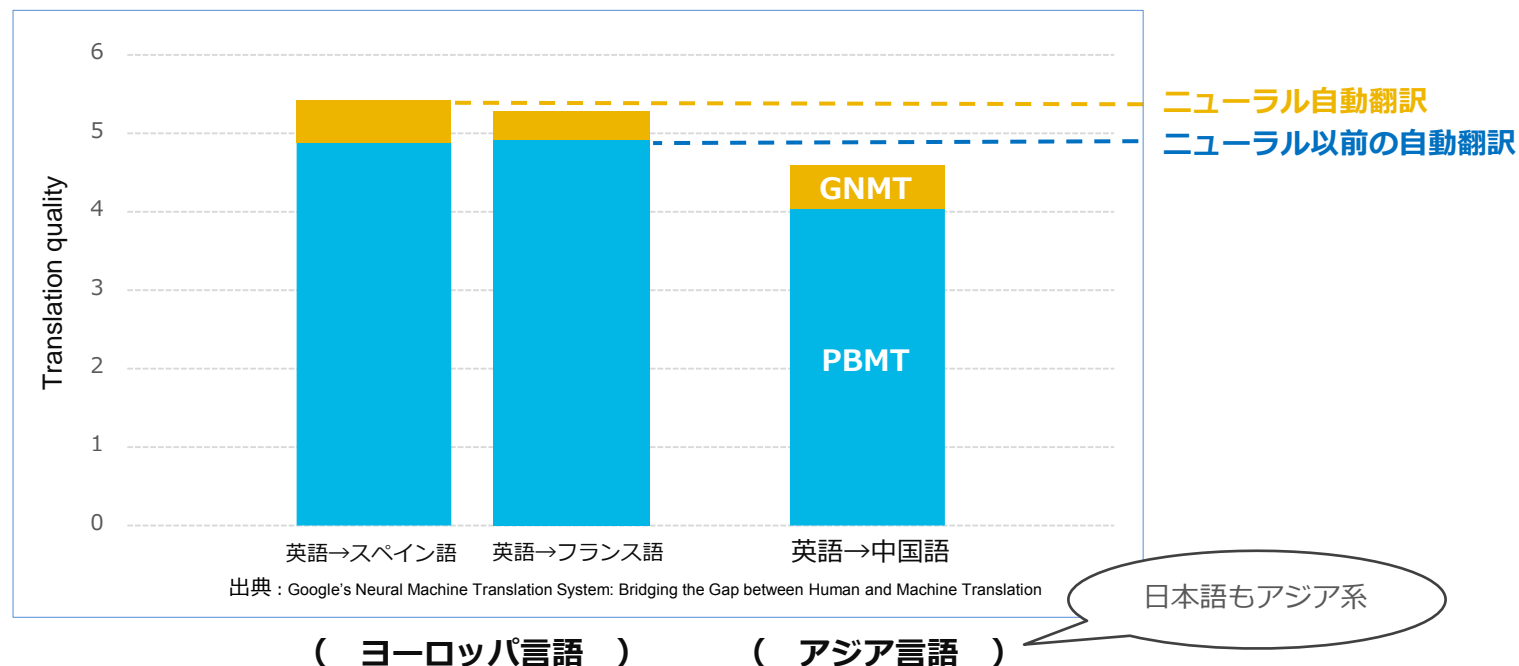
翻訳市場から消滅

無料翻訳サイトに出しても構わない原稿
読んで概要が知りたいだけが目的の翻訳
産業翻訳レベルの精度が要求されない翻訳

今後、翻訳市場は縮小していくのか？

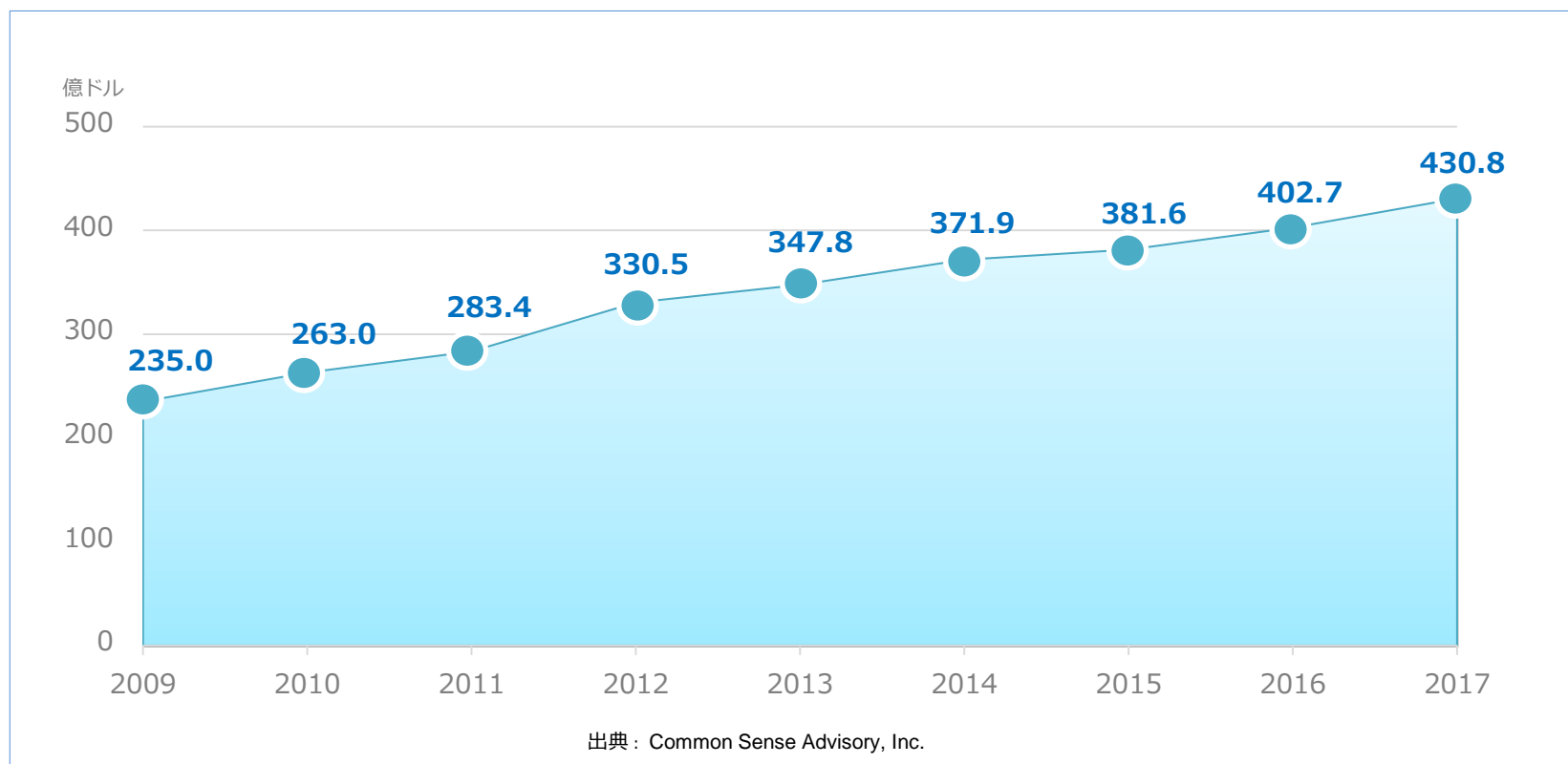
実は答えが出ている

欧米言語間では、日本語より先に数年前から実用レベルの翻訳精度だった



つまりグローバル翻訳市場の過去推移を見れば、
これから日本の翻訳市場がどうなるかが見える

グローバル翻訳市場の推移



自動翻訳が高精度化しても伸び続けている

イノベーションによる市場創造

新たな局面へパラダイムシフト

翻訳工程に自動翻訳を組み込むことにより

- 一定のクオリティで
- ローコスト&ハイスピードに
- 膨大な分量の

翻訳が実現可能に

新たな市場創造

自動翻訳後の人手による修正作業は、海外では「ポストエディット(PE:Post-editing)」と呼ばれており、

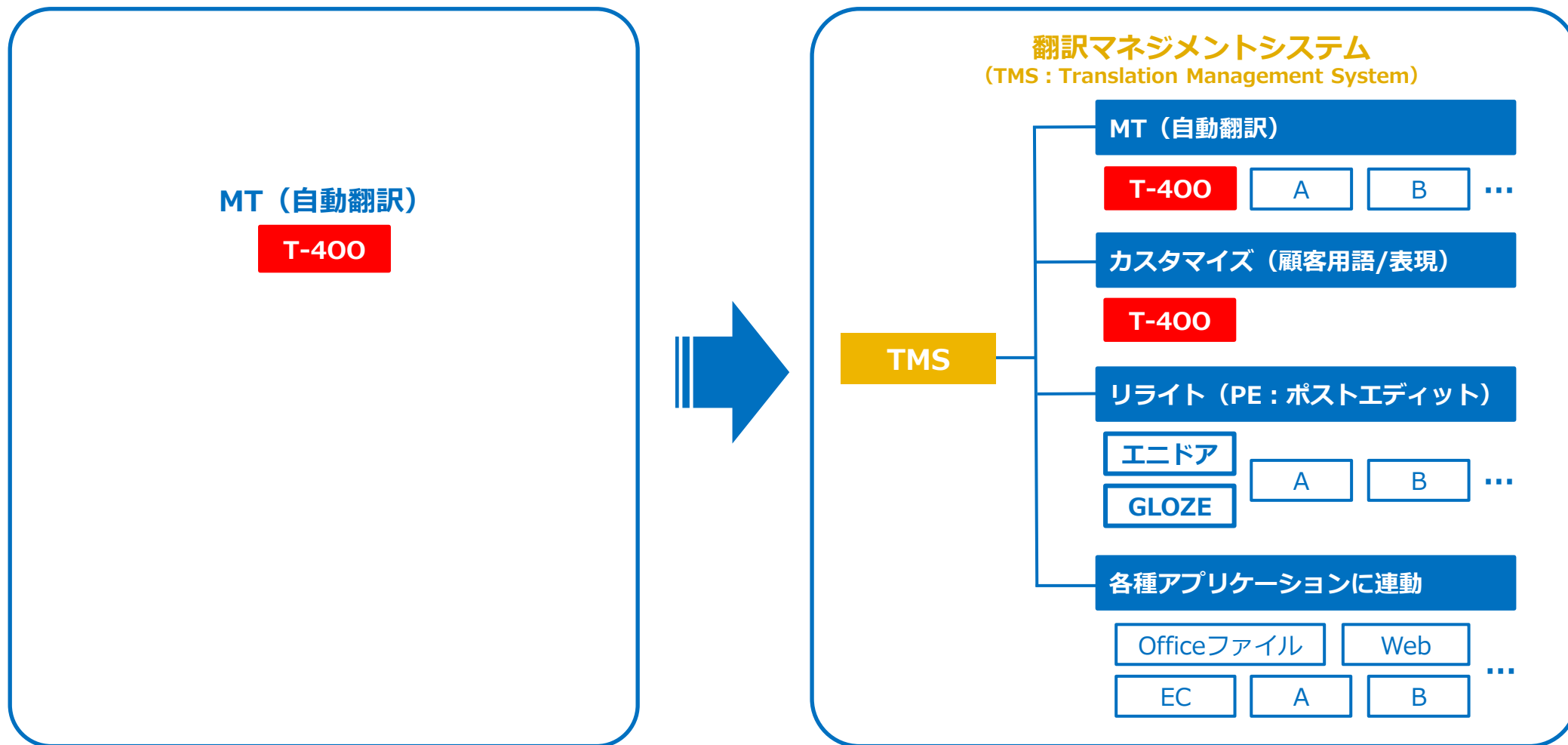
- 2017年にISO18587として国際標準規格が存在する業務にもなっている
- Webサイト、EC、クラウドサービスの翻訳を中心に爆発的に需要が増加中



株式会社ロゼッタ

当社グループの取り組み

単一機能ソフト（MT）から、統合型システム（TMS）へ移行



新サービス①

11月リリース予定

T-400(TMS版)

(Translation Management System: 翻訳マネジメントシステム)

顧客にとって最適な自動翻訳を組み込み、
顧客の用語/表現に自動でカスタマイズした後、
クラウドソーシングの人手で低コスト&高スピードに
リライトして、各種アプリケーションへの反映までを
一気通貫で行う統合型システム



新サービス②

12月リリース予定

AI & CROWD 1円翻訳

自動翻訳とクラウドソーシングによるリライトを組み合わせることで実現する1文字1円の低コスト&高スピードな翻訳API。

1文字1円の価格は、当社グループ翻訳事業比較で約10分の1。



AI



CROWD

新サービス③

来期（2019年2月期）リリース目標

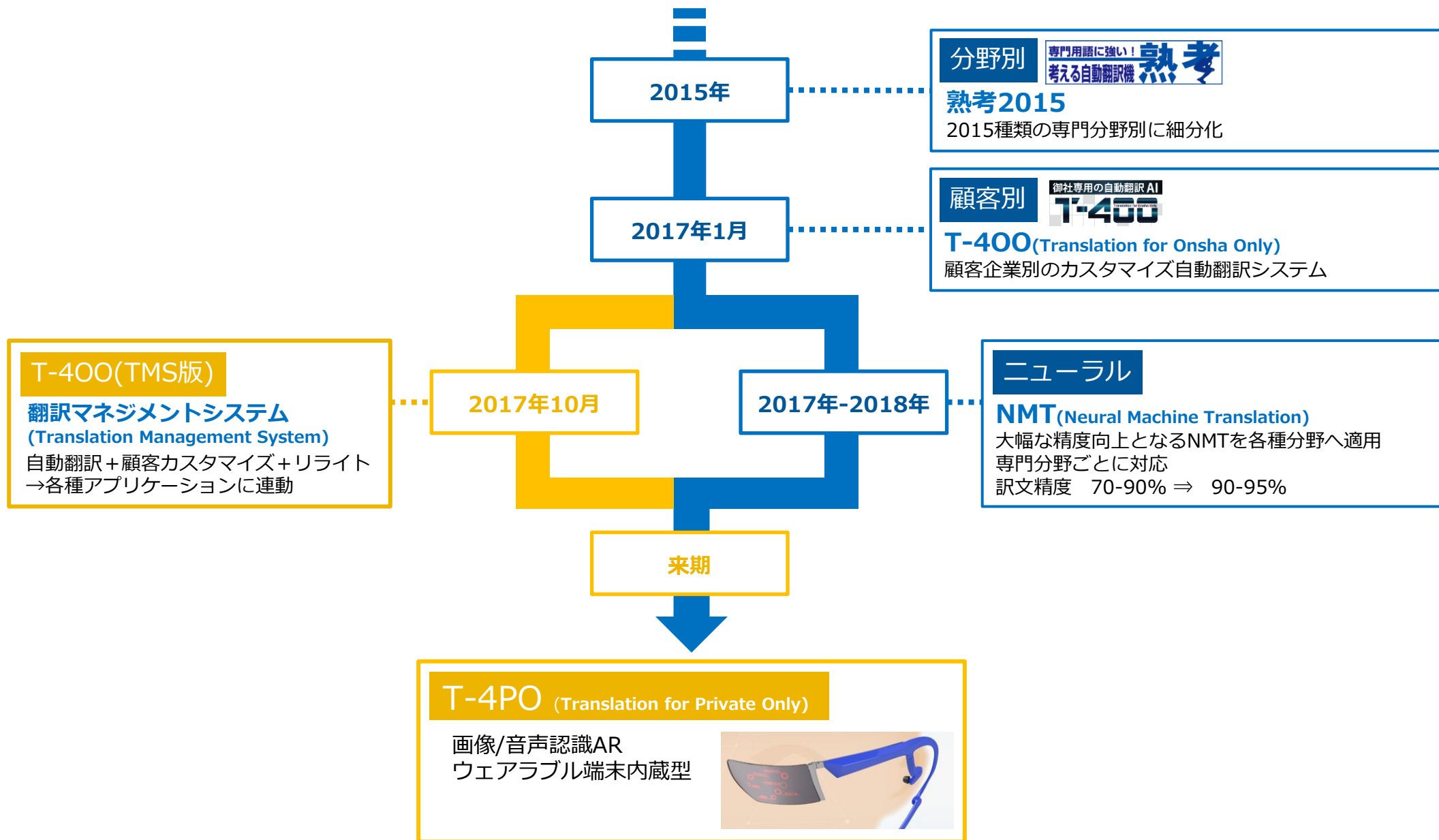
第一弾リリース目標を2022年から前倒し

T-4PO

顧客に合わせて用語/表現をカスタマイズすることで企業用途においても高精度の自動翻訳を実現するウェアラブル翻訳機。業務用をメインターゲットとして想定。



これまでとこれから



我が国を
言語的ハンディキャップの
呪縛から解放する

www.rozetta.jp

ご留意事項

- 本資料は、株式会社ロゼッタの業界動向及び事業内容について、株式会社ロゼッタによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社ロゼッタの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2017年10月13日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社ロゼッタによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。

本資料のお問合せ先
株式会社ロゼッタ
社長室 酒井

お電話でのお問合せ：03-6685-9570

FAXでのお問合せ：03-6685-0672

メールでのお問合せ：ir@rozetta.jp